

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| . 理念に基づく運営 | 22 |
| 1. 理念の共有 | 3 |
| 2. 地域との支えあい | 3 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 5 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 7 |
| 5. 人材の育成と支援 | 4 |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 10 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 4 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 6 |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 17 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 3 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 3 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 10 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 38 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 30 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 8 |
| . サービスの成果に関する項目 | 13 |
| 合計 | 100 |

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

| | |
|-----------------|-------------------|
| 事業所名 | 村長の家 |
| (ユニット名) | |
| 所在地 (県・市町村名) | 日置市吹上町永吉14145 - 1 |
| 記入者名 (管理者) | 秋山恵美子 |
| 記入日 | 平成 21 年 6 月 29 日 |

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|---|---|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>開設当初からの理念を昨年作り変えました。スタッフみんなで話し合い、自分たちのホームに合ったいい理念ができたと思っています。これまで自分たちが大切にしてきたことを今一度確認し、そしてさらに地域の中で暮らすということはどういうことか、或いは地域に対して自分たちは何ができるか、そんなことを話し合いながら作りしました。</p> | |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>理念を毎朝唱和するなどはありませんが、ホーム内のあちらこちらに掲げてあり、いろんな折々にスタッフ間で確認をしています。また理念のできた経緯が、みんなの思いを存分に出し合って楽しく作り上げた理念なので、日々の実践に自然に入っていけていると思います。</p> | |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>昨年の敬老家族会の際には、理念をテーマにした寸劇をし、参加して下さった家族さんに大好評でした。ホーム内には理念をわかりやすく掲示してあります。地域の人々へは、具体的に文言でお知らせするというようなことはしていませんが、日々の生活ぶりを直接間接的に見ていただいて、理解していただけるのではと思っています。</p> | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>隣近所の方との日常的な付き合いはとてもいいです。職員は地元の人も多く、かねてからの付き合いもいいです。またホームで作ったちまきやからいもなど近所におすそ分けしたり、野菜や花の苗など頂いたり、いいお付き合いができています。</p> | |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>自治会にも入り、回覧板なども利用者さんと一緒にまわします。自治会の奉仕作業にも参加をします。地域で開催される夏祭りやのみの市なども勿論参加しています。</p> | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 昨年度はひとつ大きな地域貢献事業を行いました。広く市民の方々を対象に認知症の講演会と自分たちの町を考えるというシンポジウムを開催しました。またスタッフは、それぞれの立場で、自分の住む地域において、生き生きサロン或いは婦人会または地域の健康づくり教室などにおいてその力を発揮しています。 | | |
| 3. 理念を实践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | この自己評価・外部評価については、毎年のことではありますが、今年もまずその意義等についておさらいをし、全員で一項目ごとに確認をしていきました。自分たちのケアの見直しになるよね、方向性、理念の確認にもなるかなと言いながら取り組んでいます。 | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 評価項目の内容や、外部評価の結果など運営推進会議で報告し、協議していただいています。それらを踏まえ、地域の方々との交流が増えたり、防災に関して地元の人ならではの貴重な意見を頂いたりしています。 | | |
| 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | いろんな書類の確認や書類の提出、行事等の案内、お礼など様々な機会をとらえ、できるだけ足を運び、担当者と話をする機会を作っています。また運営推進会議の前後の時間なども話をするいい機会です。また、困ったことなどいつでも相談できています。 | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 昨年ミーティングで勉強をしていましたが、今回、実際に成年後見制度を利用している方を受け入れ、改めて勉強会をしました。現在関係者と連携しながら、スタートしています。今後も実際の中で学んでいけるのではないかと考えています。 | | |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 4月になってから、市の人権擁護委員の方がみえて、ビデオを見て、一緒に勉強会をしました。それをまたミーティングで報告し、皆で共有する事ができました。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入所時の契約については、運営者と管理者と複数で対応し、わかりやすい説明に心がけています。また契約解除の際には、それに至るまでの間、何回も話し合い、確認をし、また退所後のことなども含め、時間をかけて話し合いをしています。</p> | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>利用者さんの中には、自分の気持ちや意見をはっきりおっしゃる方も多く、スタッフは常に耳を傾け、日々の生活に生かしていますが、運営に対して不満や苦情など実際にはあまりありません。</p> | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>月に一回、ホーム便りと個別のお手紙でそれらを報告しています。また健康状態やヒヤリハットなどについては必要に応じ、その都度報告し、面会時には、かねての生活の様子などを伝えるようにしています。</p> | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>入所時の説明時やケアプランの面談時などの際には、何でも気軽におっしゃってくださいねと声かけをし、ご意見箱なども手作りし、書いてもらいやすい雰囲気になりました。またかねてから話しやすい雰囲気作りに努めています。</p> | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>年度始めには、個別にアンケートをとり、スタッフの意見を広く聴くようにしています。またかねてからスタッフの話を聴くように努めています。</p> | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>利用者さんの状態に応じて、早出や遅出の時間を変えたり、病院受診や行事などあらかじめわかっているときなど、厚目のシフトを組んだりして対応しています。</p> | |
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>今年4月法人内の異動で、スタッフが2名替わりましたが、ほか8名のなじみのスタッフで充分フォローはできたと思っています。また法人内二つのグループホームでは一緒に行事をすることも多く、スタッフも年数も経っているので、なじみの関係ができており、利用者さんへのダメージは少ないと考えています。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修の機会はたくさん設けるようにしています。ホーム内の研修では、自主勉強として自分自身で課題ややりたいことを見つけ、勉強し、発表し、皆で共有できるようにしています。また外部の研修では、それぞれの立場や経験に応じ、均等に参加の機会を設けています。また資格取得に対しても奨励しています。 | | |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 国・県・地区のグループホーム連絡協議会に加入し、研修に参加しています。また独自で近隣のグループホームやその他の施設事業所を視察研修したり、受け入れをしたりし、意見交換や交流をできるように努めています。 | | |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | できるだけ、スタッフの話を聴く、勤務ローテーションに希望を聞く、そして今年は試みにリフレッシュ休暇を導入してみました。また法人の親睦会としてもボーリング、グランドゴルフなど計画されています。ただ、建物の構造上、スタッフだけの休憩室を設けられないのが、課題です。 | | |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | かねてから、ホームでの出来事や利用者さんのことをよく知り、スタッフがいつでも相談ができるように、ホームによく足を運び、或いはヒヤリハット報告や防災訓練報告など理事長など運営者も目を通しています。 | | |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 最近2名の方をお迎えしましたが、相談の段階では、家族や関係者からの話が主で、なかなか本人の気持ちをお聞きするということが難しいでした。お一人の方は事前にホームにいらしたりし、いろいろお話を伺うことができました。 | | |
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 最初相談にいらしてから、ほとんどの方とその後何回かお会いする機会があります。その時々で家族の気持ちは揺れ動き、いろんな葛藤を抱えています。その都度丁寧に話を聴けるように努めています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-----|----------------------------------|
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 最初の相談の場合、多くは今の介護の状況にとっても困っていて、話を聞いてほしかったり、何かいい方法はないかなどです。必要に応じ、支援センターのスタッフと一緒に話を聞いたり、或いは他の施設や事業所の管理者などと相談したりして、今必要な支援を一緒に考えるようにしています。 | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 最近2名の方をお迎えしましたが、お一人の方は理解する力も残っており、また法人内の特養のショートステイを利用されていたこともあり、なじみのスタッフもいて、喜んで入所されました。入所前見学にも来ています。もう一人の方は、理解が難しく、入所前の関係はでき得ませんでした。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 夜寝るとき、今日一日本当にお疲れ様でしたねと心からねぎらいおやすみなさいといえる関係、痛いときは痛いねえ、寂しいときは寂しいねえと気持ちを分かち合える関係でありたいと思っています。ちまきを作る、梅を漬けるなど腕前を十分に発揮してもらって、若いスタッフなど教えていただく場面がたくさんあります。 | | |
| 28 | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 利用者さんの生活の様子やエピソード、健康状態のことなど話するときなど、嬉しい出来事は一緒に喜び、心配なことは一緒に心配する、そんな関係が築けていると思います。 | | |
| 29 | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 本人と家族の関係、家族さん同士の関係、それぞれ違います。それらをよく理解して、接していくこと、また話の内容やタイミングなども、充分配慮しています。 | | |
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 行きつけの美容院や病院の先生・看護師さん、或いは踊りの先生、地元の商店の人、お寺の住職さんなどなじみの人とのつながりをできるだけ保てるようにしている。 | | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者さん同士、いい関係が築けていると思います。食席やお茶を飲む場所、車に乗る場所など相性やその時の状況を常に考え、お互いいい気持ちで過ごせるよう、配慮しています。帰宅願望のある利用者さんの話を聞いてくださったり、利用者さんにたくさん助けられています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退所されて何年も経つ家族さんから差し入れが届いたり、他の施設や病院に入所・入院中の利用者さんに会いに行ったり、今でも当時の家族さんの相談を受けたり、遠方にいる家族さんに近況をお伝えしたり、そういう関係が続いている方が多いです。 | | |
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | たとえば介護計画を作成する際など、本人の意向や気持ちはどうかということを真っ先に考えます。自分の意思を伝えられない利用者さんについては、どんなときに嬉しそうか、いい顔をされるか、心地よさそうか等々の視点で意見を出し合います。それは日々の暮らしの中でも同じです。 | | |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | まず入所時、これまでの生活歴やどんな風に暮らしてこられたかなど、家族やケアマネ、施設関係者などから口頭及び情報提供書等で聞きます。そして一緒に生活する中で、徐々に関係を築きながらさらにいろいろなことを聞き、生活を膨らませていけると考えています。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 人それぞれ一日の生活のリズムは違って、朝起きる時間、寝る時間、食事の量や飲む量、排泄のリズム、過ごし方は実に多様です。その人のこれまでのリズムを尊重しながらも、できる事を見極め、そうありたいその人のリズムに近づけていけるような支援ができるよう努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画を作成するに当たっては、まずは本人の思いや希望を聴き、併せて家族の意向を面談や電話等で聴きます。また必要に応じて主治医の意見・指示も聞き、それらを含めてスタッフ全員で、話し合いを行います。また日頃から、本人・家族・主治医等の意向を聴くように努めています。 | | |
| 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の見直しについては基本的には、要介護認定の更新時に行っていますが、それ以降毎月のケアカンファで、計画はこのままでいいかの検討を行い、必要に応じ、見直しを行っています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|---|-----|----------------------------------|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の記録については、わかりやすく簡潔に書く。その日の健康状態、暮らしぶりや出来事、またその人らしいエピソードは本人の言葉を用いて書く、そして勿論介護計画の実践についても評価を入れながら書く、そういうことを確認しながら記録するようにしています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ここ数年ほとんどの利用者さんの終末期を見てきました。終末期は医療のリスクが高くなり、通院入院は勿論日々の生活においても目の離せない状況が続きます。家族が遠方にいらっしゃる方も多く、家族の意向を確認しながら、ホームでそれらのほとんどを担ってきました。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 昨年はホームに足を運んでいただくきっかけにさせていただくと、運営推進会議に警察、消防、校長先生、地域の婦人部の方々など幅広く地域の人たちに来ていただきました。実際その後、2回目の訪問があったり、個別に来ていただいたり、交流が広がりました。 | | |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 現在のところは、ほかのサービスについての希望や必要性を見つけられず、利用していません。食事についてや通院、美容院に行くなどホームで対応できています。 | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 現在のところは、個別の利用者さんについて、地域包括支援センターとの協働はありません。が、運営推進会議にゲストとして出席していただいて、勉強会をしたり、広く市民を対象に開催した認知症と一緒に考えるシンポジウムに参加していただいたりして、認知症の啓発及び家族の会の立ち上げ等に努めたりしました。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 基本的にこれまでのかかりつけ医をそのまま継続してもらっています。本人との長い付き合いの中での信頼関係もできていますし、またその3箇所の医療機関は、協力医療機関になっており、グループホームのこともよく理解して下さっており、いい関係が築けています。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------|----------------------------------|
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | それぞれのかかりつけ医は、認知症の専門医ではありませんが、認知症のこと、グループホームのことをよく理解しており、適切に対応してもらっています。また必要に応じ、認知症の専門医を紹介していただき、先日も受診をしてきました。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | もうひとつのグループホームと兼務ではありますが、常勤の看護師がいて、利用者さんの健康管理については一元的に把握をしています。日々の健康状態については勿論、緊急的な対処についてもスタッフとしっかり連携が取れています。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 現在お一人の方が入院中ですが、入院時には家族は勿論スタッフも付き添い、情報提供書や口頭で本人の状況について伝えていきます。また入院後は何度も病院に足を運び、様子伺いをし、病院側の担当者や主治医の先生と現在の状況や退院の目途等について何度も話を伺い、或いは家族と一緒に伺いに行っています。 | | |
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合、どうしたいかについて、まず入所時その意向を聞きます。その後、ケアプランの面談時や家族会のと看、或いは病気や入院等によって状況が変わった場合などその都度、意向の確認をしています。そしていよいよ終末期が近くなった場合など、より頻回にその話し合いをしています。 | | |
| 48 | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 今年に入って102歳の終末期の方の看取りを経験しました。遠方にいる家族さんとは、手紙や電話で頻りに連絡しあい、主治医の先生とも常に連絡をとっていただきました。またスタッフ間では、より念を入れて、ミーティングやその都度の話し合いをし、不安なこと、いざというときの対応等について、何度も確認をし合いました。 | | |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 先日もお一人特養へ移られましたが、本人の状況等について口頭及び情報提供書、ケアプランなどで詳しく伝えました。また持ち物等もすべて持っていかれました。入所後は、スタッフはたびたび顔を見に行ったり、或いは電話等で細かいことなどの情報交換などその都度しています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|----------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>記録物やその方に関する個人情報については、秘密保持の徹底を全スタッフで常に確認しています。そして利用者さんに対しては、丁寧な対応と言葉遣い、プライバシーの保護等、その時々で確認しあいながら、気をつけています。</p> | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>たとえば今日着たい服やお風呂に入りたい入りたくない、部屋で過ごす、居間で過ごす、お茶を飲む場所、熱い物を飲む、冷たいものを飲むなど日常生活のあらゆる場面で、些細なことでも本人の希望を聴くようにしています。またご自分で答えられない方へも表情や日頃の様子などから、こうしてほしいのかな・を察して支援するようにしています。</p> | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>だいたい食事の時間や朝起きる時間など通常、人が生活する上でのおおよその時間がありますが、それらは単に目安であって、その方の体調、その日その時々調子によって変わります。その方の状況に合わせて生活していただいています。</p> | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>美容院は勿論本人の行きつけに行っています。身だしなみやおしゃれなど、とても気を遣う方、頓着のない方、いろいろですが、お化粧品や着る服など本人に合わせて、支援しています。</p> | |
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | <p>ホームの畑でできる野菜などは一緒に行って収穫し、何にして食べましょうかなど話が弾みます。また頂いた野菜なども同じです。野菜の下ごしらえであったり、たまには味を見ていただいたり、盛り付け、配膳、後片付けなどいろんな場面で利用者さんと楽しく一緒にできていると思います。</p> | |
| 55 | <p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | <p>現在タバコやアルコールを習慣的に飲まれる方はいませんが、何か行事の際や買物に行った際など飴玉やカステラなど自分で買われる方もあります。また誕生会など本人の好きなメニューにしたり、食欲がないときなど好きなものを差し上げたり、個別に対応できていると思います。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-----|----------------------------------|
| 56 | 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 基本的には皆さんトイレでの排泄を継続しています。車椅子の方も声かけしたり、尿意の感覚の薄れている方も時間をみて、しぐさなど見て、トイレへ誘導しています。夜間帯はADLのレベルによりスタッフ一人での介助が難しかったり、また本人の睡眠との兼ね合いなど考慮し、オムツ対応の場合もありますが、日中はなるべく自然な排泄を心がけています。 | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日や時間帯を一律に決めているわけではありませんが、すべてを利用者さんの希望を聞いて行っているわけではありません。ただ利用者さんが気持ちよく入れるように、ということは第一に考え、一人一人ゆっくりした気持ちで入っていただくようにしています。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 利用者さんの状況に応じて、またその日その時々状況にも応じて、過ごしていただいています。昼食後は居室で横になるとか、中がいい方には居間のソファでくつろいでいただくなど、調子を見ながら対応しています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 草取りが好きな方、畑仕事が好きな方、台所仕事が好きな方、洗濯物畳みや広げ方などされる方、それより歌ったり踊ったりが好きな方、おしゃべりの方、それぞれできる事やしたいこと、好きな事は違います。その方に合った場面で出番を發揮してもらっています。 | | |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を実際持っていられる方は数名いらして、買物の際など飴玉など買われたりされます。実際は所持していませんが、買物や美容院など行った際にはご自分で払われる方もいます。その方の状況に応じた対応をしています。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 庭が広く気軽に外に出れる環境にあり、頻繁に外に出る機会があります。また帰宅願望の強い方なども外に出て、庭を散歩したり、ちょっと道路まで一緒に出かけるなどして、気分転換を図ったりしています。車椅子の方も勿論同じです。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 墓参りに行きたいと話される利用者さんもいて、家族さんがいらした際などお伝えしたりしています。また家族さんと一緒に、自宅に帰ったり、墓参りに行ったり、外出に行ったりされる方もいます。ただ、スタッフで特別どこかへ個別に行くということは、今はその希望が聞かれなかったり、体制上難しかったり、していません。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|-----|----------------------------------|
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 部屋に電話を引いている方がお一人、取り次いで話される方が数人、お手紙を実際に書かれる方は今はいなくなりましたが、来た際には、読んで差し上げ一緒に喜んでいきます。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時間は設けておらず、いつでも面会ができます。また、状況に応じ、居室であったり、居間であったり、気兼ねなく面会ができるようにしています。必要に応じ、スタッフも入ったりし、湯茶の接待、手作りのお茶菓子、漬物などを差し上げるようにしています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないというのは、大前提にあり、たとえばベッドからの転落が心配されるような状況になれば、畳に布団の対応をすとか、いろいろ工夫をしています。身体拘束についての勉強会も身体拘束廃止委員会として定期的にミーティングで行っています。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 当ホームにとって開設当初より鍵をかけないというのは当たり前のことでしたが、外に出てしまわれる利用者さんもいらして、ではこの解放的なホームの中で、利用者さんの安全をどう守るか、常に試行錯誤してきました。勿論地域の人の協力も絶大に頂きながら、その都度話し合いを重ねている現状です。 | | |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 利用者さんの所在の確認については、昼間ならその3・4人のスタッフで常に連携しながら見守りをし、夜間帯には、特に注意が必要な方を中心に居場所確認をし、怪我や事故のないよう細心の配慮をしています。 | | |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 基本的に包丁やはさみなど刃物類は直接目に付かないところに保管しているようにしていますが、洗剤やそのほか花瓶の水、ほうき、杖など利用者さんの状態によっては、対策を講じるときもあります。その時々利用者さんの状況に応じて対応しています。 | | |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 利用者さんのその時々状態において起こりうるリスクなどは常にスタッフ全員で共有し、またどんな些細なことでもヒヤットしたことはヒヤリハットに書くようにし、それについてその時々確認し、さらに月1回のミーティングの際にも検討しています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 70 | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 応急処置の程度にもよりますが、たとえばのどに食べ物や異物を詰まらせた場合などの処置は、ほとんどのスタッフができるのではと思っています。また利用者の急変時の対応については、マニュアルもありますし、そのリスクのあるような場合は、個別に作り、適切に対応ができるよう努めています。 | | |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 月一回の防災訓練では、火災だけでなく、地震、水害なども想定し、また夜間の想定での訓練も行っています。また夜勤に入るときなど、災害が起こったらのシミュレーションを常に行うようにしています。先日の通報訓練では、消防署の方、隣近所の方、法人内スタッフの協力も頂き、全スタッフで行いました。 | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 外に出て行かれる方、歩きが不安定で転倒などの心配のある方それぞれですが、利用者さんの現状及び起こりうるリスク等について、またあわせてホームの現状と方針(人員のこと、建物設備のこと、鍵など)を開放的にしていることなど)について、家族さんとその時々で話し、充分協議をするようにしています。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 一日のうちでおおよそ決まった時間に体温や血圧などはかり、顔色表情その他元気さなど見ています。またかねてから、いつもの様子と違うという感覚を大事にし、気がついたことは、お互いに気をつけあい、必要に応じ、看護師や管理者に連絡するようにしています。 | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬については、誰がどんな薬を飲んでいるかなど、スタッフは誰でもわかるようにファイルしてあります。また配薬についても誤薬や間違いのないよう、二重三重に確認をするようにしています。また薬が変わった際など、本人の状態がどうかスタッフは、気がついたことを看護師につなげ、主治医と連携できるようにしています。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | それぞれの利用者さんによって、ヨーグルト、ヤクルト、からいもなど、効く方、効きすぎる方それぞれです。その方にあった支援をしています。また、水分を摂る、歩く(動く)、車に揺られるなど、通常の生活の中でできる事を心がけています。 | | |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 口腔ケアについては、毎食後行っています。通常の歯ブラシ以外にも舌ぶらし或いはスポンジブラシを使うなど、利用者さんの状態に応じて、支援しています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事については法人内の栄養士の献立を参考にしているため、カロリーや量・メニューのバランスなど問題ないと思っています。食事量や水分量については、個別におおよその量を把握できるようにしています。利用者さんの状態によってさらに細かくみる必要がある場合は、その都度細かなチェック表を作り、確認するようにしています。 | | |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症予防のマニュアルがあり、その時季、その時々で勉強会をし、確認をしています。法人では看護師会が定期的に関われ、特に感染症については毎回協議をしています。都度報告があり、またそれらに関する文書も回覧されます。またホームではペーパータオルの使用や、年間を通じ次亜水を使用するなど、予防に努めています。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食材はその都度近くの店で買い、また頂き物など旬の野菜など新鮮なうちに使うようにしています。台所用品などの消毒など、スタッフ間で取り決めをして、衛生管理は徹底して行っています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 既存の建物の良さをそのまま残してあります。門構え、玄関口、建物周りなど普通の家となんら変わりはなく、違和感や威圧感などないと思っています。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 玄関、居間、廊下などあらゆるところに季節の花が飾られ、明るさや光、音などにも配慮しています。また、台所の音、におい、程よい人のざわめきを感じながら、安心して過ごしていただいていると思っています。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 家の中のいろんな場所にソファやベンチを置いて、いつでもどこでもくつろげるようにしています。季節や肌もちに応じて、それぞれお好きな場所で、過ごしておられます。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-----|----------------------------------|
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には冷暖房の設備しか備え付けてなく、利用される方によって居室の雰囲気はがらりと変わります。本人の状況や希望に合わせて、しつらえをしていただいています。入居時はなるべく使い慣れたものをお持ちくださいとお願いをしています。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 既存の建物は、夏は風通しがよく、冬は適度に隙間風もあり、密閉された感じはありません。冷暖房器具に頼りすぎることなく、自然の空気の中で過ごせているのではと思っています。建物全体が風通しよく、空気の通り抜けがいいので、においがこもったりなどの弊害も少ないと思っています。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 昔ながらの既存の建物なので、それを生かしながらも、入居されたその方に合わせて、トイレや廊下、居室、お風呂場などの手すりの場所や位置など検討し、設置してきました。 | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 既存の建物ならではの昔の雨漏りのしみが壁にあり、昨年は新しく入居される方が混乱されるのではとの不安があり、やり直しをしたりしました。その都度気になる床があれば、対応しています。 | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関周りには、プランターや鉢植えの花を置いたりまたベンチを置いて、いつでも外を眺めたり外に出て楽しめるようにしています。また縁側のところには、中にベンチ、外は盛り土にして、お茶を飲んだり、つわむきをしたり、体操をするなどみんなの集う場所になっています。 | | |

| . サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----------------|--|-----------------------|--|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の | |
| | | 利用者の2/3くらいの | |
| | | 利用者の1/3くらいの | |
| | | ほとんど掴んでいない | |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある | |
| | | 数日に1回程度ある | |
| | | たまにある | |
| | | ほとんどない | |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と | |
| | | 家族の2/3くらいと | |
| | | 家族の1/3くらいと | |
| | | ほとんどできていない | |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように | |
| | | 数日に1回程度 | |
| | | たまに | |
| | | ほとんどない | |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている | |
| | | 少しずつ増えている | |
| | | あまり増えていない | |
| | | 全くいない | |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ほぼ全ての職員が | |
| | | 職員の2/3くらいが | |
| | | 職員の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が | |
| | | 利用者の2/3くらいが | |
| | | 利用者の1/3くらいが | |
| | | ほとんどいない | |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が | |
| | | 家族等の2/3くらいが | |
| | | 家族等の1/3くらいが | |
| | | ほとんどできていない | |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

村長の家の昔ながらの由緒あるたたずまいをスタッフみんなが誇りに思い、またその既存の建物の良さを最大限日々の暮らしに生かしています。周りの環境もよく、近くには、商店街や小学校、お寺、郵便局、病院などが隣接し、敷地内も贅沢な広さがあり、その立地条件は抜群です。開設時から地域の人達の協力と応援を頂いた経緯もあり、地域の方たちの受け入れもよく、いろんな場面で協力を頂いています。また児童クラブも併設されており、それらを通して、地域との連携はより深まっていると思います。スタッフも明るく前向きで、スタッフ同士とても仲がよく、助け合ってカバーしあって仕事が出来ていると思います。